



5分	3. 児童から出た考えを整理し、まとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">&lt;予想される考え&gt;</p> <p>① <math>4 + 6 = 10</math></p> <p>② <math>4 + 1 + 6 = 11</math></p> <p>③ <math>5 + 6 = 11</math></p> <p>④ <math>4 + 7 = 11</math></p> </div> <p>※自力解決が難しい児童には、図の続きを一緒に考えたり、ブロックを使って考えたりするように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>4 + 6 = 10</math>になる理由を図と関連させながら発表させる。</li> <li>・ みさきさんも含めた式を同様に図と関連させながら発表させる。</li> <li>・ 答えが11人になることを全体で共有し、その他の「<math>5 + 6 = 11</math>」「<math>4 + 7 = 11</math>」と書いた人の理由を発表させ、どの式もみさきさんを含めた式になっていることを押さえる。</li> <li>・ {みさきさんの前の人数} {みさきさん} {みさきさんの後ろの人数} など言葉の式を位置づけるようにする。</li> <li>・ 図に表すことで、問題文にはなかった「1」が見えてくることを押さえる。</li> <li>・ 机間指導しながら、個別にホワイトボードに図を描かせておき、全体で共有する際に活用させる。</li> <li>・ 図の中に言葉や数値を表現している児童がいた場合は全体で取り上げ、紹介する。</li> </ul> <p>◎図から式に表して落ちなく計算することができるようにする。 <span style="float: right;">〈発言分析・記録分析〉</span></p> <p>○図を使用することで、場面を正確に捉え、立式できたり、意味が分かりやすくなったりすることを確認してまとめを共有させる。</p>	ホワイトボード
<p><b>まとめ</b></p> <p><math>4 + 6 = 10</math>はみさきさんはいっていないので、+1をして<math>4 + 1 + 6 = 11</math>になる。ずでかくと見えない「1」が見えてくる。</p>			
5分	4. 追加問題を解く	<p>○数値を変えた追加問題を出す。</p> <p>◎図から式に表して落ちなく計算することができるようにする。 <span style="float: right;">〈発言分析・記録分析〉</span></p>	
5分	6. 本時のふり返しを行う。	<p>○めあてに対する振り返りや、予想に対する振り返りを書くようにする。</p>	